ICT を用いた医療介護情報の連携について

当訪問看護ステーションでは、ご利用者様に安心・安全でより質の高い訪問看護を提供するため、地域の医療機関や介護事業所等と ICT（情報通信技術）を用いた連携体制を構築しております。

■ 連携の目的と内容
地域の関係機関と、ICT ネットワークシステムを用いてご利用者様の医療・ケアに関する情報をリアルタイムに共有し、常に確認できる体制を有しています。これにより、ご利用者様の状態の変化に迅速に対応し、的確な訪問看護計画の立案・管理を行っております。

■ 情報共有の同意について
ご利用者様の診療情報等の共有は、ご本人様（またはご家族様）にあらかじめ同意をいただいた場合にのみ行います。また、情報共有の対象となる参加者の範囲は随時設定可能であり、同意のない機関へ情報が共有されることはありません。

■ 個人情報の保護・セキュリティについて
情報の共有・保管にあたっては、厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」やプライベート SNS 利用に関するガイドライン等に準拠したシステムを利用しています。適切なアクセス制御と一元的な管理のもと、個人情報の保護に万全を期しております。
・使用システム：MCS 等
・共有内容：バイタルサイン、病状の経過、処置の内容、ケアマネジャーへの報告事項、薬の変更情報など

■ 主な連携機関 当ステーションは、日頃から以下の機関（5 つ以上）と ICT を用いた連携を行っております。
医療法人社団　焔　やまと診療所
医療法人社団鳳優会　あすかホームケアクリニック
アビースホームケアクリニック千川小竹向原
医療法人社団　野村医院
東京海上日動みずたま介護ＳＴ板橋ケアプランセンター
など
当ステーションにおける ICT 連携や個人情報の取り扱いについてご不明な点がございましたら、スタッフまでお気軽にお問い合わせください。